



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 新田ゼラチン株式会社

コード番号 4977 URL <http://www.nitta-gelatin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 曾我 憲道

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長

(氏名) 佐々木 恒雄

TEL 072-949-5381

四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日

配当支払開始予定日

平成26年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	16,146	0.7	270	△50.4	533	△15.4	372	△19.2
26年3月期第2四半期	16,035	14.3	545	△38.9	630	△32.8	460	△34.3

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 875百万円 (26.0%) 26年3月期第2四半期 695百万円 (61.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	20.27	—
26年3月期第2四半期	27.34	—

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	32,716	14,828	45.0
26年3月期	31,389	13,781	43.4

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 14,709百万円 26年3月期 13,636百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
27年3月期	—	6.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,400	△1.3	600	△37.2	700	△37.2	500	△24.9	27.21

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成26年11月6日)公表いたしました「第2四半期連結累計期間業績予想と実績との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	18,373,974 株	26年3月期	18,373,974 株
27年3月期2Q	162 株	26年3月期	162 株
27年3月期2Q	18,373,812 株	26年3月期2Q	16,856,740 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成26年11月14日(金)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。その際に使用する決算説明資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済を中心に緩やかに回復しているものの、中国や東南アジア諸国などの新興国経済の減速等不透明な状況が続いています。一方、日本経済は、緩やかな回復基調ですが、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動及び夏の天候不順により消費が低迷しています。

このような中、当社グループにとっては、海外原料価格の上昇、日本におけるエネルギーコストの上昇と円安による輸入仕入れコスト高止まりなど極めて厳しい環境となりました。

この結果、売上高は16,146百万円(前年同期比0.7%増加)となりました。日本市場での販売価格改定の実施時期遅れ、海外市場での一部製品の販売価格低下により、営業利益は270百万円(前年同期比50.4%減少)となりました。円安の進行に伴う為替差益により、経常利益は533百万円(前年同期比15.4%減少)、四半期純利益は372百万円(前年同期比19.2%減少)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① コラーゲン素材事業

ゼラチンは、日本では食用の販売は増加しましたが、販売価格改定の実施時期が遅れたことにより利益は減少しました。北米ではカプセル市場の軟化に伴う需要減少を食用でカバーしましたが、豚皮原料価格の上昇により利益は減少しました。この結果、ゼラチンの売上は増加しましたが、利益は減少しました。

コラーゲンペプチドは、日本では消費税増税に伴う駆け込み需要の反動により低調に推移しました。一方、アジア地域での販売は堅調に推移しましたが、全体では売上が減少しました。

コラーゲンケーシングは、北米での販売が好調に推移し、売上、利益ともに増加しました。

この結果、当該事業の売上高は11,253百万円(前年同期比4.5%増加)、セグメント利益は594百万円(前年同期比10.8%減少)となりました。

② フォーミュラソリューション事業

食品材料は、消費税増税に伴う需要の減少により製菓・デザートとハム・ソーセージ用が低調に推移し、売上が減少しました。

接着剤は、ホットメルト形接着剤が夏場の天候不順の影響により販売が減少し、シーリング材(高機能樹脂)の採用は始まっているものの、新たな採用に至るまで時間を要し、売上は減少しました。

この結果、当該事業の売上高は4,892百万円(前年同期比7.2%減少)、セグメント利益は383百万円(前年同期比30.5%減少)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末比1,327百万円増加の32,716百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が561百万円、債権流動化により受取手形及び売掛金が784百万円減少した一方で、商品及び製品などのたな卸資産が690百万円増加、接着剤事務所及び実験室の更新、ニッタゼラチンユーエスエー Inc.におけるコラーゲンペプチド工場建設等により有形固定資産が1,481百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比279百万円増加の17,888百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が76百万円、退職給付に係る負債が176百万円減少した一方で、短期借入金が78百万円、長期借入金(1年内返済予定を含む)が446百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比1,047百万円増加の14,828百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が561百万円、その他有価証券評価差額金が207百万円、為替換算調整勘定が311百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は45.0%(前連結会計年度末43.4%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末比561百万円減少の1,844百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は672百万円（前年同四半期は910百万円の使用）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益514百万円、売上債権の減少額938百万円及びたな卸資産の増加額576百万円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は1,460百万円（前年同四半期は1,381百万円の使用）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出1,432百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により獲得した資金は197百万円（前年同四半期は2,645百万円の獲得）となりました。主な要因は、長期借入れによる収入1,407百万円及び長期借入金の返済による支出1,058百万円によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成26年5月9日に公表しました「平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載した連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（平成26年11月6日）公表の「第2四半期連結累計期間業績予想と実績との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が225百万円増加（投資その他の資産のその他に含めて表示）、退職給付に係る負債が238百万円減少、利益剰余金が299百万円増加しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,426,006	1,864,603
受取手形及び売掛金	8,164,776	7,380,185
商品及び製品	4,732,050	5,221,894
仕掛品	1,089,542	1,220,632
原材料及び貯蔵品	1,820,812	1,890,018
その他	465,533	583,587
貸倒引当金	△13,339	△14,487
流動資産合計	18,685,381	18,146,434
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,815,141	3,400,688
機械装置及び運搬具（純額）	2,139,301	2,167,727
その他（純額）	3,849,844	4,717,782
有形固定資産合計	8,804,286	10,286,198
無形固定資産		
その他	50,795	58,952
無形固定資産合計	50,795	58,952
投資その他の資産		
投資有価証券	3,075,772	3,438,599
その他	775,527	788,702
貸倒引当金	△2,111	△2,101
投資その他の資産合計	3,849,189	4,225,200
固定資産合計	12,704,270	14,570,350
資産合計	31,389,652	32,716,785

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,255,505	4,178,947
短期借入金	1,121,491	1,199,792
1年内返済予定の長期借入金	1,932,912	2,021,261
未払法人税等	147,730	130,824
賞与引当金	177,916	167,239
その他	2,444,825	2,512,922
流動負債合計	10,080,381	10,210,988
固定負債		
長期借入金	4,415,868	4,773,666
役員退職慰労引当金	37,072	37,897
退職給付に係る負債	2,524,417	2,348,123
その他	550,869	517,484
固定負債合計	7,528,227	7,677,171
負債合計	17,608,608	17,888,159
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,144,929	3,144,929
資本剰余金	2,966,442	2,966,442
利益剰余金	8,623,463	9,184,813
自己株式	△68	△68
株主資本合計	14,734,766	15,296,116
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	622,837	830,228
繰延ヘッジ損益	△5,110	32,453
為替換算調整勘定	△187,061	124,695
退職給付に係る調整累計額	△1,528,458	△1,573,516
その他の包括利益累計額合計	△1,097,792	△586,138
少数株主持分	144,069	118,647
純資産合計	13,781,043	14,828,626
負債純資産合計	31,389,652	32,716,785

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	16,035,202	16,146,308
売上原価	12,835,048	13,135,791
売上総利益	3,200,154	3,010,517
販売費及び一般管理費	2,655,139	2,740,365
営業利益	545,014	270,151
営業外収益		
受取利息	4,236	301
受取配当金	10,826	13,379
為替差益	66,292	224,208
持分法による投資利益	73,135	58,614
その他	41,063	47,527
営業外収益合計	195,555	344,032
営業外費用		
支払利息	74,114	71,448
株式公開費用	23,385	—
その他	12,660	9,146
営業外費用合計	110,160	80,594
経常利益	630,409	533,589
特別利益		
受取補償金	87,288	—
特別利益合計	87,288	—
特別損失		
固定資産除却損	12,998	18,621
特別損失合計	12,998	18,621
税金等調整前四半期純利益	704,699	514,967
法人税等	248,809	148,480
少数株主損益調整前四半期純利益	455,890	366,487
少数株主損失(△)	△5,025	△6,032
四半期純利益	460,915	372,520

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	455,890	366,487
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	129,260	207,483
繰延ヘッジ損益	△20,682	32,390
為替換算調整勘定	219,473	304,021
在外子会社の年金債務調整額	△9,480	—
退職給付に係る調整額	—	△44,925
持分法適用会社に対する持分相当額	△79,369	10,154
その他の包括利益合計	239,201	509,125
四半期包括利益	695,091	875,612
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	689,057	884,174
少数株主に係る四半期包括利益	6,034	△8,561

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	704,699	514,967
減価償却費	428,581	469,040
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△54	557
賞与引当金の増減額(△は減少)	△62,788	△12,191
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△24,739	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	825	825
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	15,897
受取利息及び受取配当金	△15,063	△13,681
支払利息	74,114	71,448
為替差損益(△は益)	△21,886	△130,535
持分法による投資損益(△は益)	△73,135	△58,614
固定資産除却損	12,998	18,621
売上債権の増減額(△は増加)	△1,389,305	938,924
たな卸資産の増減額(△は増加)	△229,535	△576,442
仕入債務の増減額(△は減少)	177,038	△189,720
未払消費税等の増減額(△は減少)	△66,723	39,633
その他	△314,673	△205,693
小計	△799,649	883,037
利息及び配当金の受取額	84,043	54,481
利息の支払額	△74,771	△68,508
法人税等の支払額	△120,406	△196,214
営業活動によるキャッシュ・フロー	△910,784	672,795
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20,000	△20,000
定期預金の払戻による収入	20,000	20,000
有形固定資産の取得による支出	△1,248,221	△1,432,484
無形固定資産の取得による支出	△2,388	△13,189
投資有価証券の取得による支出	△3,593	△3,591
投資有価証券の売却による収入	5,362	—
関係会社株式の取得による支出	△142,136	—
保険積立金の積立による支出	△4,566	△2,501
保険積立金の解約による収入	15,599	—
貸付けによる支出	△120	—
貸付金の回収による収入	2,157	2,032
その他	△3,881	△10,560
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,381,789	△1,460,294

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	497,539	13,328
長期借入れによる収入	251,849	1,407,000
長期借入金の返済による支出	△1,197,368	△1,058,691
社債の償還による支出	△200,000	—
株式の発行による収入	3,135,616	—
セール・アンド・リースバック取引による収入	392,335	80,991
リース債務の返済による支出	△102,539	△118,078
配当金の支払額	△126,159	△110,242
少数株主への配当金の支払額	△5,880	△16,860
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,645,393	197,448
現金及び現金同等物に係る換算差額	44,085	28,648
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	396,905	△561,402
現金及び現金同等物の期首残高	2,258,659	2,406,006
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,655,565	1,844,603

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

I 前第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	コラーゲン 素材事業	フォーミュラ ソリューション 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	10,763,955	5,271,246	16,035,202	—	16,035,202
セグメント間の内部 売上高又は振替高	679,876	—	679,876	△679,876	—
計	11,443,831	5,271,246	16,715,078	△679,876	16,035,202
セグメント利益	666,336	551,352	1,217,688	△672,674	545,014

（注）1. セグメント利益の調整額△672,674千円には、セグメント間取引消去1,526千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△674,200千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	コラーゲン 素材事業	フォーミュラ ソリューション 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	11,253,381	4,892,927	16,146,308	—	16,146,308
セグメント間の内部 売上高又は振替高	686,952	—	686,952	△686,952	—
計	11,940,333	4,892,927	16,833,260	△686,952	16,146,308
セグメント利益	594,499	383,151	977,651	△707,499	270,151

（注）1. セグメント利益の調整額△707,499千円には、セグメント間取引消去866千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△708,366千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。